

抄録

演題：咬合の生理とリハビリテーション

咬合器に模型を装着し口腔内を再現して作業を進める上で、どうしても歯科技工士が抱える問題点、生体を正確に咬合器にトランスファーする考え方、そして咬合を如何にして回復していくのかについて論じたい。

日頃、臨床で取り入れているアイテムの紹介とそのシステムの概論、ケースプレゼンテーションを通じて、私の臨床のテーマでもある咬合の生理とリハビリテーションについて受講者の皆と喧々譁々語り合いたいと思っております。

岐阜県歯科技工士会副会長 久世 康正